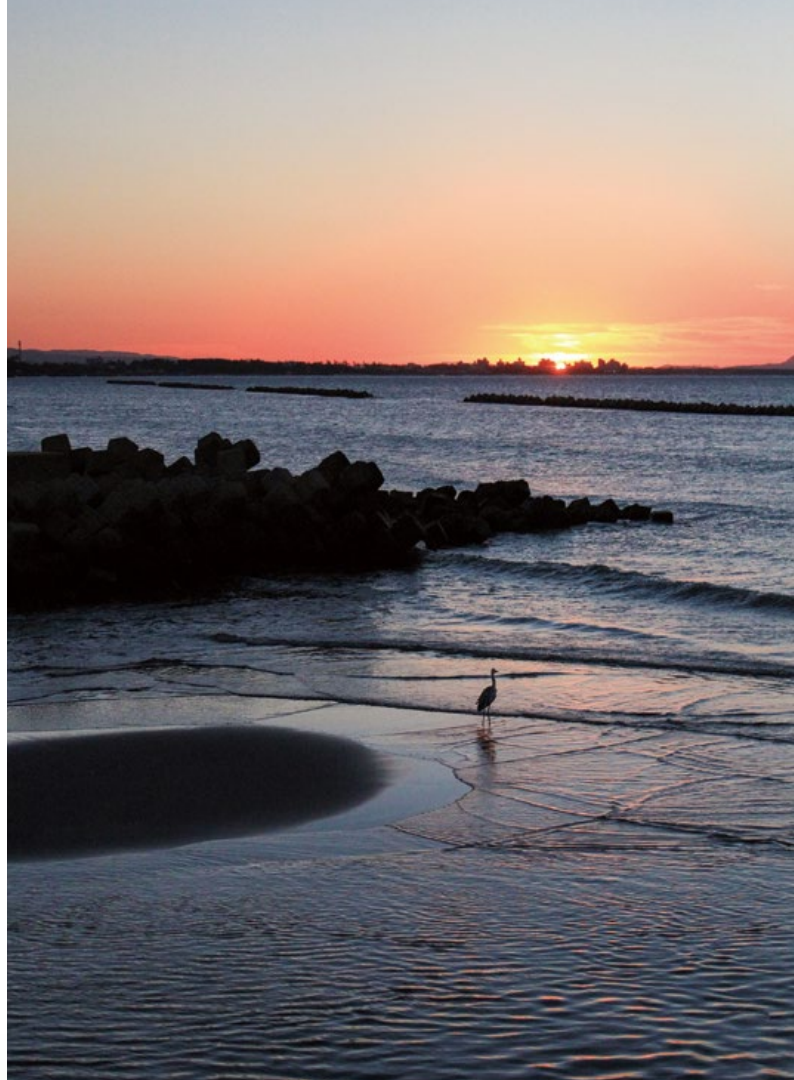


水と 未来

… 守る、つなぐ …





下水道 過去・現在・未来

私たちが使って汚れた水は、下水処理場や合併処理浄化槽できれいにして自然へ戻しています。きれいになった水は、水蒸気になって雲になり、雨になり、川を流れ、私たちの元に戻ってきます。

米子市下水道部は、クリーンな水の循環を守り、見えないところで「当たり前」の生活を支えます。下水道の力により、私たちの暮らしは昔と比べてどのように変わり、未来はどのようになっていくのでしょうか。

過去

まちの環境を守れ

昔、私たちが排出したし尿などは、肥料として畑などで利用され、川や海に流されることはありませんでした。しかし、明治時代になって人々が集まって住むようになると、大雨で家が水に浸かったり、汚水が低地に流れないで溜まったままになったりしていることが原因で、伝染病が広まるようになりました。日本でもコレラが大流行し、たくさんの方が亡くなりました。その原因がまちなかの衛生環境の悪さだとい



水没する加茂川沿いの道路(紺屋町)

現在

快適な毎日

下水道が整備されたことにより、私たちがトイレやお風呂などで使った汚れた水は下水管へ流されるようになりました。まちなかは清潔な環境が保てるようになり、悪臭もなくなり、快適な生活を送ることができています。

また、生活排水が流れなくなったことで川の水質も良くなり、様々な生き物が見られるようになりました。

今、新型コロナウイルス感染症の流行が世界中で問題となっていますが、もし下水道がなければ、トイレや手洗

Copyright © 2020 Shimane Waterworks Bureau. All rights reserved.



加茂川で泳ぐアユの群れ(日本海新聞令和3年5月13日掲載)



いをした水がまちなかに流され、ウイルスに汚染された水や土壌が溜まることでウイルス接触の機会が増え、感染のリスクが高まります。下水道があれば、汚水は処理場で処理してから自然へ返します。で、感染する可能性は相当低くなります。下水道のもうひ

人口減少で財政や人材が制限され、老朽化した管や施設の修繕にはお金がかかるようになり、そのかたわら、地球温暖化などによって、大雨などの大規模災害に対応する役

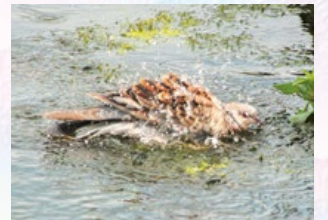


子どもたちが処理場からきれいな中海を眺めます

未来 つなげよう 美しい水を

きれいな水を次の世代に残すことは、今を生きる私たちの大切な役目です。下水道を取り巻く環境は昔と比べて大きく変わっており、

とつの大事な役割に、雨水の排水があります。近年大雨による災害が増えていますが、下水道によって、大雨が降っても雨水がきちんと排水され、まちを浸水から守り人々の安全を確保しています。地下にあるため普段は気付かず、何気なく使っている下水道ですが、私たちが安心して、快適に毎日を過ごすためには欠かせないインフラです。



キジバトも川で水浴び

人口減少で財政や人材が制限され、老朽化した管や施設の修繕にはお金がかかるようになり、そのかたわら、地球温暖化などによって、大雨などの大規模災害に対応する役



割は増えていきません。少ない人材と費用でたくさん役割を受け持つために、米子市では、施設の統廃合を計画したり、効率的な運営ができるよう民間の力の活用を図ったりしています。また、下水処理施設から出る消化ガスを使った発電に取り組み、新たなエネルギーの活用も始めています。



次世代にも安心して快適な暮らしができるよう、水を循環し、再生する。米子市下水道部は、持続可能な社会を目指しこれからも頑張ります。




下水道事業の取り組みによるSDGsへの貢献

最近、よく耳にするSDGs（エスディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals」の略称であり、日本語で「持続可能な開発目標」という意味になります。

SDGsは「世界共通の目標」として、17の大きな目標から構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。米子市が行う下水道事業の取り組みもSDGsへ貢献しているため、その一部をご紹介します。



SDGs 目標 6
安全な水とトイレを世界中に




米子市では公共下水道の整備促進や合併処理浄化槽の設置促進を通じて、汚水の処理や、未普及世帯の解消を図りながら、安全安心な水環境と公衆衛生の確保に努めています。



また、下水道施設の維持管理や整備促進は、地震や大雨等に備える防災の役割も果たしており、近年では災害用マンホールトイレの設置も進めています。このような取り組みを通じて、公共用水域の水質改善、保全に貢献しています。

SDGs 目標 7
エネルギーをみんなにそしてクリーンに



米子市の処理場では流れてきた汚水から取り除かれた汚れ（汚泥）を発酵させ減量化し、処分しやすくしています。この発酵の過程でメタンガスが発生します。

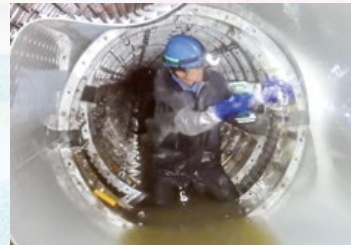


このメタンガスの約半分を再利用し、残りは処分していました。今年、内浜処理場内に消化ガス発電設備を設置しました。これにより、さらなるエネルギー効率の改善に貢献します。

SDGs 目標 9
産業と技術革新の基盤をつくろう



米子市では下水道管の新規整備に加えて、既設管の調査や改築工事を計画的に進めています。下水道管の多くは地下に埋設されており、目に見えませんが、老朽化や災害等によりさまざまな問題が生じます。これらをそのままにすると、道路陥没などの大きな問題へと発展してまいります。このような取り組みにより、信頼でき、持続可能で強靭なインフラ整備に貢献しています。



SDGs 目標 14
海の豊かさを守ろう



市内の3つの処理場では汚水を安全に処理し、海域への放流を行っています。これは、海洋ごみの削減や富栄養化等の防止にも寄与するものであり、海洋汚染の防止・削減に貢献しています。



令和3年10月検針分から、
下水道の使用料を改定します

くわしい内容は、市のホームページからご確認ください。



<https://www.city.yonago.lg.jp/35491.htm>